

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)

【公表番号】特表 2019-502737 (P2019-502737A)

【公表日】平成 31 年 1 月 31 日 (2019.1.31)

【年通号数】公開・登録公報 2019-004

【出願番号】特願 2018-538221 (P2018-538221)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/747 (2015.01)

A 6 1 P 1/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/99 (2017.01)

A 6 1 Q 11/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/747

A 6 1 P 1/02

A 6 1 P 29/00

A 6 1 K 8/99

A 6 1 Q 11/00

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 17 日 (2020.1.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

口腔内の炎症の治療及び／又は予防に用いるための、好ましくは歯肉炎及び／又は歯周炎の治療及び／又は予防に用いるための医薬組成物であって、微生物、又は 2 以上の微生物を含むか、若しくは 2 以上の微生物からなる混合物を含み、

前記微生物は、ラクトバチルス・パラカゼイ (Lactobacillus paracasei) LPc-G110 (CCTCC M 2013691)、ラクトバチルス・プラントラム (Lactobacillus plantarum) GOS42 (DSM 32131)、ラクトバチルス・デルブルエッキー・サブスピーシーズ・ラクティス (Lactobacillus delbrueckii subsp. lactis) LL-G41 (CCTCC M 2016652)、ラクトバチルス・プラントラム Hea119 (DSM 15313) 及びラクトバチルス・パラカゼイ NS9 (NCIMB 8823) からなる群から選択される、医薬組成物。

【請求項 2】

前記微生物は、弱毒化微生物又は死んだ微生物、好ましくは熱不活性化された微生物、好ましくは 70℃と 100℃の間の温度で 2～8 分間インキュベートすることによって熱不活性化された微生物である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

インターロイキン 1 (IL-1)、インターロイキン 6 (IL-6)、インターロイキン 8 (IL-8)、腫瘍壊死因子 (TNF)、プロスタグランジン E2 (PGE2)、イソプロスタニン、マトリックスメタロペプチダーゼ 9 (MMP9) 及び NF-κB からなる群から選択される 1 種以上の炎症性因子の放出を低減又は抑制するための、口腔内の抗炎症

症剤として用いるための請求項 1 又は 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

口腔内の炎症の治療及び／又は予防に用いるための、好ましくは歯肉炎及び／又は歯周炎の治療及び／又は予防に用いるための医薬組成物であって、請求項 1～3 のいずれか 1 項に定義される 1 種以上の微生物の断片を含む、医薬組成物。

【請求項 5】

口腔医薬組成物、口腔ケア製品又は栄養若しくは楽しみのための製品であって、

ラクトバチルス・パラカゼイ L P c - G 1 1 0 (C C T C C M 2 0 1 3 6 9 1) 、ラクトバチルス・プランタラム G O S 4 2 (D M S 3 2 1 3 1) 、ラクトバチルス・デルブルエッキー・サブスピーシーズ・ラクティス L L - G 4 1 (C C T C C M 2 0 1 6 6 5 2) 、ラクトバチルス・プランタラム H e a l 1 9 (D S M 1 5 3 1 3) 及びラクトバチルス・パラカゼイ N S 9 (N C I M B 8 8 2 3) からなる群から選択される 1 種以上の微生物又はそれらの断片を含む、

前記微生物又はそれらの断片の合計量が、口腔内の炎症の治療及び／又は予防、好ましくは歯肉炎及び／又は歯周炎の治療及び／又は予防に十分であり、

更に、

前記微生物又はそれらの断片の合計量が、前記組成物の合計質量に対し、好ましくは 0 . 0 1 ~ 1 0 0 % の範囲内、より好ましくは 0 . 1 ~ 5 0 % の範囲内、最も好ましくは 1 ~ 1 0 % の範囲内であり、及び／又は、

前記微生物又はそれらの断片の合計量が、好ましくは $1 \times 10^3 \sim 1 \times 10^{11}$ コロニー形成単位 (C F U) の範囲内であり、より好ましくは $1 \times 10^5 \sim 1 \times 10^{10}$ C F U の範囲内であり、

口腔内の炎症の治療及び／又は予防に用いるための、好ましくは歯肉炎及び／又は歯周炎の治療及び／又は予防に用いるための、組成物又は製品。

【請求項 6】

担体、賦形剤又は更に活性成分からなる群から選択される 1 種以上の成分を更に含む、請求項 5 に記載の組成物又は製品。

【請求項 7】

前記組成物が、コーティング又はカプセル化されている、請求項 5 又は 6 に記載の組成物又は製品。

【請求項 8】

前記組成物又は製品が、溶液、懸濁液、乳液、錠剤、顆粒、粉末又はカプセルの形態である、請求項 5 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の組成物又は製品。

【請求項 9】

前記組成物又は製品が、練り歯磨き、歯磨きジェル、歯磨き粉、歯クリーニング液体、歯クリーニング泡、マウスウォッシュ、マウススプレー、デンタルフロス、チューイングガム及びトローチ剤から選択される、請求項 5 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の組成物又は製品。

【請求項 10】

請求項 5 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の口腔医薬組成物、口腔ケア製品又は栄養若しくは楽しみのための製品の製造方法であって、

ラクトバチルス・パラカゼイ L P c - G 1 1 0 (C C T C C M 2 0 1 3 6 9 1) 、ラクトバチルス・プランタラム G O S 4 2 (D M S 3 2 1 3 1) 、ラクトバチルス・デルブルエッキー・サブスピーシーズ・ラクティス L L - G 4 1 (C C T C C M 2 0 1 6 6 5 2) 、ラクトバチルス・プランタラム H e a l 1 9 (D S M 1 5 3 1 3) 及びラクトバチルス・パラカゼイ N S 9 (N C I M B 8 8 2 3) からなる群から選択される 1 種以上の微生物又はそれらの断片を、1 種以上の更なる成分、好ましくは担体、賦形剤又は更に活性成分からなる群から選択される 1 種以上の成分と混合する工程を含む、前記方法。